

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2ジュニアゆうあい		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来、社会で自立した生活を送れるよう日常生活の自立を支援しています。一人ひとりのペースに合わせて「自分ができる」を増やしたいと思う利用者さんのサポートをします。	・第2独自の「Let's challenge!!」というプログラムがあり調理や洗濯、掃除など家庭全般のスキルアップ、最低限のマナーが身につくように、お手伝い編・調理編・マナー編があります。	
2	将来継続してできる個人の余暇の時間を豊かにするための支援をしています。また将来の余暇の居場所として地域の施設を利用する活動もしています。	・アナログゲーム、お菓子作り、創作活動など興味のある活動を提供し自己発信、自己選択ができるように支援します。また、将来の余暇の居場所として、地域の施設を利用した活動に取り組んでいます。	
3	地域社会の一員として自立した生活を送れるよう、生活習慣の確立を支援しています。	・時間の管理・見通しが立てれるよう、個人に合わせたスケジュール管理に取り組んでいます。 ・第2独自の『お仕事依頼』というものがあり、手先を使った作業やスタッフの補助的な仕事のお手伝いの依頼を、自分に合った仕事を選び取り組んでもらっています。そのなかで報連相を学んでもらい、就労に繋げる取り組みをしています。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	創作活動の材料やアナログゲーム等が取り組みやすい環境になっていない。	利用者さんが一目で創作活動の材料や、アナログゲームが何処にあるかわかるような視覚提示が不十分。また、友達同士ですぐに手に取って遊べたり、元の場所にスムーズに片付けられるような環境までには至っていない。	創作活動等の材料に関しては、取り組みやすい動線を作る。また、アナログゲーム等は取捨選択をし友達と遊びやすいように環境を整えていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2025年3月1日					回収数	
第2キッズゆうあい	利用児					20名	18名
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	13	5				
	2	15	2		1	・男性スタッフがもっと増えると嬉しい。男児の親なので	
	3	14	3		1	・急な階段はやや不安です 一軒家のため構造上難しい部分もありますが、今年度は階段一つ一つわかりやすいように白いテープを貼り、降りるのが分かりやすくなりました。今後も工夫していきます。	
	4	17	1				
適切な支援の提供	5	16	1		無回答 1		
	6	15	1		1	無回答 1 わかりやすいような公表の仕方を検討していきます	
	7	18					
	8	18					
	9	18					
	10	17	1				
11	11	4		3		どのような形が望ましいか検討していきます	
保護者への説明等	12	18					
	13	18					
	14	16			2	・就労支援についての説明会は 大変参考になりました 情報交換会等行っていますがわかりやすくお伝えしていけるように工夫していきます	
	15	17	1				
	16	18					
	17	18				・いつも支えてもらっています	
	18	10	3	1	4	・兄弟（姉妹）向けのイベントがあったら行かせたいと親として思います（上の子が行くかは分かりません） 検討していきます	
	19	15	2		1	個別支援計画の面談や電話、対面等でわかりやすくお伝えできるように工夫していきます	
	20	17	1				
	21	17				無回答 1	
22	17	1					
非常時等の対応	23	16	1		1	保護者様面談等でわかりやすくお伝えできるように工夫していきます	
	24	16	1		1	定期的に行っていますが、行われたことなどの報告を分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます	
	25	15	2		1	保護者様面談等でわかりやすくお伝えできるように工夫していきます	
	26	15	2		1	今後も速やかな連絡や事故が発生した際の状況等の説明ができるように努めてまいります	
満足度	27	18					
	28	17			1		
	29	17	1			・いつも助かっています。ありがとうございます	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		第2キッズゆうあい				公表日		2025年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6							
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6							
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	6			・利用者さんや保護者様からご意見を参考にしている	・建物の構造上難しい部分もありますが今後も改善していきたい			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6			・定期的にスタッフで話し合い、活動場所や静養する場所等を変更し利用者さんが過ごしやすいようにしている				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6							
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			・日々のミーティングで利用者さんの様子を情報共有している ・月に1回振り返りをして改善に努めている				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				無回答1			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			・日々のミーティングや月1回の振り返り等で意見を出し合い業務改善に努めている				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			・月1程度に外部の方に訪問や評価してもらっている	無回答1			
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6			・スタッフ研修を受けやすいようにゆらあい全体で研修室が送られてきて研修に参加する機会が確保されている				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6							
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	6							
	13 放課後等サービス計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			・発達支援だけでなくスタッフ全員が共通理解できるよう定期的に話し合いをしています。				
	14 放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6							
	15 こどもの行動状況の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			・フォーマルアセスメントは行っていないが日々の行動観察はスタッフ間で共有している	・フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせて情報を集めるが一人ひとりに合った支援方法を立てていきたい			
	16 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービス提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6							
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・定期的に話し合いの場を設けている	無回答1			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・日々のミーティングで話し合ったり、個別支援計画の見直し時期に検討している	無回答1			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	6							
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・ミーティングでもその日行われる支援内容だけではなく、前日の利用されたときの様子も細かく報告しその日の支援が円滑にできるようにしている				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・発達支援または発達管理クラスの職員にその日の支援の報告をしている ・Lineworksを活用し共有している				
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・スタッフ全員が日々見られるLineworksを活用して入力したり、それを紙ベースにして記録として保存している				
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6							
	24 放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5				無回答1			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す工夫を促すための支援を行っているか。	5				無回答1			
	関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				無回答1		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。									
28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		5							
29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。						・中高生に特化した事業所のため、就学前の情報の関しては本人と			
30 学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。						・情報共有の依頼があった場合は本人と保護者様の了解を得て、担当職員やサービス事業所へ情報共有している			
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5			・発達支援センターの研修など個人で受けている				
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。						・今後の必要性等を改めて職員で検討していきたい			
33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。						・地区では社会福祉協議会を開催していますが委員任命のため委員としては参加していませんが、代表として参加したところから資料等をいただく機会を受けている			
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		5							
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2			・研修や電話などで研修を受けた場合は2人で確認しているかなどは把握している。トレーニングの必要性を感じた場合は、療育の公認の講師へ相談を取り組んで行っている				
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5							
	37 放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5							
	38 「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	6							
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	6							
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・就労に関する相談会等の開催、就労見学ツアー等の参加企画は設けている	きょうだい同士での交流する機会を設けていないため意見等があれば検討していきたい			
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6							
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6							
	43 個人情報取扱いに十分留意しているか。	6							
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6							
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	6							
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6							
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に演習、救出その他必要な訓練を行っているか。	6							
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6			・服薬等ある場合は動作確認と取られる状況や対処方法に関しては、各職員にお渡しして把握を確認させていただいたり、相談員や学校の先生と連携をとらせてもらっている				
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。					現在、食物アレルギーの方がおられないが、そういった場合には指示書に基づき対応していく			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6							
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6							
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6			・ヒヤリハット報告書を明記し、その後はスタッフ間で検討し再発防止に努めている				
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			・ゆらあい全体で研修があり、その後は第2ジョニア内でも再度確認している				
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	6							